

吾平物産館「つわぶき」に関するサウンディング型市場調査の結果について

吾平物産館「つわぶき」は、吾平町の農林水産物の付加価値を高め、生産及び販売活動と観光の振興を図るため、平成 10 年度にオープンし名物「みそうどん」や「シシラーメン」が人気を博すなど、周辺の「吾平山上陵」や「大隅広域公園」、「黒羽子観光農園」とともに、吾平南部の重要観光拠点と位置付けられていました。

市町村合併後の平成 20 年度からは、指定管理者により運営が行われてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響や施設設備の老朽化等により令和 4 年度をもって閉鎖され現在に至っています。

一方、市では「黒羽子観光農園」を核とした吾平南部の活性化を図るため、令和 6 年 12 月に「黒羽子観光農園活性化基本計画」を策定し、周辺観光施設をはじめ、吾平物産館「つわぶき」の利活用による、周遊型観光の確立に取り組むこととしています。

そこで今回、民間事業者の意見や新たな事業提案を受けることを目的に、物産館「つわぶき」に関するサウンディング型市場調査をしました。

この度、その結果を取りまとめましたので、その概要を公表します。

1 実施スケジュール

日 時	内 容
令和 7 年 8 月 1 日（金）	実施要領の公表
令和 7 年 8 月 27 日（水）	現地見学会・事前説明会の開催
令和 7 年 9 月 26 日（金）	エントリーシート申込期限（3 事業者）
令和 7 年 10 月 3 日（金）	サウンディングシート提出期限（3 事業者）
令和 7 年 10 月 14 日（火）	個別対話（3 事業者）

2 結果概要

個別対話を行った各事業者より以下のような意見がありました。

① 事業コンセプト

黒羽子観光農園と物産館を結ぶ“周遊ルート”を形成するために、「みそうどん」の復活と観光農園ツアーの立ち上げ。

森林の持つ多面的機能を維持するための「森の相談窓口」の設置と、「物販販売店舗」を併設。

「食」の提供と各種土産品の販売展示。

② 主な施設機能

農園直送マルシェ、「みそうどん食堂」機能（飲食・食文化継承）、果実クラフト製造・販売機能、フルーツジェラート & カットフルーツ工房、加工・体験スタジオ機能、観光

案内、デジタル発信、国内航空業界との連携による農業・観光・空港連携による地域ブランドの発信。

③ その他の意見等

施設・空調の改修や備品の整備のほか、運営方法についても指定管理者制度による管理や売却、使用料の免除などなどの意見がありました。

3 今後の予定

今回頂いたご提案・ご意見を参考に、引き続き、吾平物産館「つわぶき」の利活用に向けて検討を進めます。